



まちづくり町民講座

住民と役場が前向きに提案していく対話へするため、平成30年6月に「まちづくり町民講座実行委員会」を設置し、「情報共有こそまちづくりの第一歩」として活動を始めました。委員会を設置してからまちづくり町民講座・セミナーを計4回開催しました。

情報共有と住民参加

平成31年度は、まちづくり町民講座実行委員会から「まちづくり委員会」へ名称を変更し、今後、町民講座の質・回数を向上させながら、さまざまな「提案・企画立案」にも取り組み「情報共有と住民参加」を加速させます。

これまでの取り組み

第11回まちづくり町民講座

平成30年8月20日（月）

テーマ…「これまでの地方創生

―目指すべき自治のあり方とは?―

講師…首都大学東京都市教養学部

教授 山下 祐介 氏

まちづくり町民セミナー

平成30年9月26日（水）

テーマ…「錦江町のこれから

―持続可能なまちづくり―

講師…関西学院大学人間福祉学部

教授 小西 砂千夫 氏

第12回まちづくり町民講座

平成30年12月20日（木）

テーマ…「職員研修の報告」

講師…平原（教育課）、川路（未来

づくり課）、小川（総務課）

第13回まちづくり町民講座

平成31年1月29日（火）

テーマ…「ふるさと納税 ―離れていてもまちづくりに参加へ―」

講師…川前（未来づくり課）・大野（MIRAー協議会）

まちづくり委員会の提案・企画立案とは？

（例1）新年度予算の策定過程の透明化

今年度より「見たい！知りたいたい！まちのしごと」を発行し予算内容を説明しています。

しかし、それだけでなく、策定過程から広く住民の方へ公開していくことも必要ではないかと思っています。

町長から職員へ説明する「予算編成方針」から始まり、方針を受けた担当者が予算の方向性を町長へ報告する「調整会議」、担当課が要求額について説明する「予算査定」、これらの議論過程を経て、「議会の審議」まですべてを公開する。

それがまちの予算をわかりやすくする第一歩だと思います。

（例2）自治会長の紹介カード作成

自治会未加入者が年々増えてきており、ごみ収集や郵便の直送、地域に



においても自治会運営に少なからず影響が生じています。自治会長を少しでも身近な存在として周知する必要があります。また、移住者向けに對してどのような地域であるのかを紹介していかねければならない。そう考えると自治会長を紹介するツールは今後増やす必要もあります。

「地域良し・移住者良し・役場良し」の三方良しを目指します。



いまさらですが…

なぜ、情報共有と住民参加なの？

▼住民と役場が同じ情報量でお互いに議論すれば、ひとりひとりの知恵が加わり、まちをつくっていくのではなくいかと感じているからです。

だから役場は情報の提供方法を増やす、住民と話し合う機会を定期的に開催する必要があります。

まちづくり町民講座と出前講座のちがいは？

▼まちづくり町民講座…

住民（参加自由）へ知ってもらいたいことを説明する。

▼出前講座…

住民（各種団体など）が知りたいことを説明する。

※どちらにも必要な講座です。